

教員インタビュー（小学校）

島に赴任しようと思ったきっかけを教えてください。

4年生の担任をしているときに、子どもたちと一緒に東京都の島しょ部について調べたことがきっかけです。その時、島しょ部という環境で、島の人たちがどのように暮らしているのか、子どもたちはどんな様子なのかもっと詳しく知りたくなり、赴任を希望しようと思いました。

児童（生徒）の人数が少ないことについて、どう感じていますか？

初めて全校児童がそろった時には、とても人数が少なく、ビックリしました。ですが、一人一人が内地の子どもたちに負けないくらい元気で、温かい心で接してくれるので、あまり少ないと感じずにいます。

島の学校と内地の学校で違いがあると感じることは何ですか？

一人一人と向き合う時間や言葉かけの機会がとて多くなったことです。学年に7～14人程度の在籍数のため、1日を過ごす中で頻繁に声をかけたり、関わったりできることがとても大きく変わったところだと思います。また、他学年の子とも一緒に遊び、関わり、全校の子たちと仲良くなれるのが魅力です。

仕事や日常生活において、赴任前のイメージと違ったことを教えてください。

仕事の内容については、以前の学校にいた時と大きく変わったと感じるところはありません。ただ、毎日の生活に精神的な余裕をもてるようになったことで、自分のやりたい事・新しい事にどんどんチャレンジできるのがとても楽しいです。

島だからできたことがあれば教えてください。

波浮の港を使った自然体験教室やキャンプ・水泳大会など地域の特色を活用した体験活動や行事などとても楽しいです。今後の予定として、内地の先生方が社会科等の授業で島を扱う際に、ZOOM等を用いて、島の様子を伝えたり、島の子たちに内地の様子を伝えたりする授業を行いたいと考えています。

日常生活での買い物はどうしていますか。

波浮の港から車で20分程度走って、元町のスーパーなどに買い出しに行くことが多いです。スーパーのほかに雑貨店などもあるため生活に必要なものは大体揃います。また、野菜等は、近くの個人商店で買うことが多いです。大きな家具や電化製品などは、Amazon等を活用して配送してもらうこともあります。

休日は、何をして過ごしていますか？

島内を車で巡ってみたり、釣りをしている先輩と一緒に夕方にサバを釣り、夜にイカ釣りに行ったりすることが多いです。また、趣味のダイビングに挑戦したり、大島高校などで行われているバドミントンなどの交流会に参加したりすることもあります。

島の学校に来て、最も印象に残っていることを教えてください。

何より「子どもたち」です。人懐っこく、すぐに仲良くなり、校外で会うと声をかけてくれる。休み時間には、「先生、何やってるの？」と声を掛けて一緒に遊ぶことがあるなど、島に来て不安な時期にその笑顔にとっても助けられました。

島での生活や仕事の一番の魅力を教えてください。

大島での魅力は自分の在り方を見直せることです。生活面では、豊かできれいな自然に囲まれ、心を落ち着かせることができます。そして、心温かい島民の皆さんと接する中で新しい体験を行えたり、一緒に楽しんだりすることができます。そうした環境は、内地ではなかなかできない体験です。

島への赴任を検討している方に一言お願いします。

まず何より伝えたいのは、今とても楽しいということです。住み慣れた環境を離れ、新しい場所で一から生活する選択肢を選ぶことに不安もありました。その中で、同じ学校の先生方、そして子供たち、地域の人たちは温かく受け入れてくださり、毎日が楽しく、「やってみよう」という気持ちになります。一緒にお仕事をできるのを楽しみにしています！